

参加報告/平成29年度 九州地区総合技術研究会 in OKINAWA

島袋, 瞬
九州大学応用力学研究所

<https://hdl.handle.net/2324/1956644>

出版情報：九州大学応用力学研究所技術職員技術レポート. 19, pp.66-66, 2018-10. Research
Institute for Applied Mechanics, Kyushu University

バージョン：

権利関係：

参加報告／平成 29 年度 九州地区総合技術研究会 in OKINAWA

島袋 瞬

1. 出張・研修等の名称

平成 29 年度 九州地区総合技術研究会 in OKINAWA

2. 開催場所・開催期間

開催場所：名護市民会館（沖縄県名護市）

開催期間：2018 年 3 月 6 日（火）～ 2018 年 3 月 8 日（木）

3. 出張・研修等への参加目的

ポスター発表による討論を通じて、他機関の技術職員との交流を深めるだけでなく、新しい知識の習得や更なる技術の向上を図るため。

4. 出張・研修等の概要

本研究会は、主に九州地区の大学・高専の技術職員が日頃の業務における技術的な成果を発表し、参加者同士の交流を通して互いの技術向上を目的としている。参加者は約 130 人であり、九州以外からも多数の技術職員が集まった。今回は、3 日目のエクスカージョンを除く、初日と 2 日目に参加した。

初日は、沖縄高専の安藤校長による特別講演「長寿企業にみる人材育成」および琉球大学の山城教授による特別講演「サンゴの常識・非常識」が行われた。また、初日と 2 日目にかけてポスター発表（4 セッション）とワークショップ（電気・電子・制御系、自然・環境系、情報・セキュリティ系、加工技術系の 4 分野）が行われた。

自身はポスター発表を行い、発表内容の説明や意見交換を行った。また、他の参加者のポスター発表やワークショップを聴講した。各分野のワークショップでは、「高専・大学における技術の未来」を共通テーマに、モデレータが提起した内容についてパネリストや会場の参加者による討論が行われた。

5. 所感

入職後、初めて学外の研究会でポスター発表を経験した。「PIPS2 による FIB 試料のダメージ除去条件評価」というタイトルで発表を行ったところ、発表内容についてコメントやアドバイスを頂き、参考になった。特に TEM 写真撮影に関するコメントから、ポスター発表で提示した TEM 写真のコントラストにおいて改善の余地があることを知った。金属の転位や FIB のダメージを区別するためにはコントラストを最大限調整する必要があるため、今後の課題としたい。

全体を通して、ポスター発表の仕方など、現状における課題を見つけることができた。どのようなポスター発表が聴衆を惹きつけるのか参考にするため、他の人の発表スタイルやポスターを注意深く観察してみると、ポスターの出来栄だけでなく、説得力のある話し方や振る舞いが重要な要素であると感じた。このような研究会に参加することは、知識量や技術力の向上のみならず様々な面で成長できる機会になると感じたため、今後も積極的に参加したい。

6. 特記事項

ポスター発表：PIPS2 による FIB 試料のダメージ除去条件評価